

高齡者・障害者歯科学

後期分

[講義] 第4学年 前後期 必修 1単位相当 2単

《担当者名》○教授/飯田 貴俊 tiida@

特任教授/三浦 宏子 hmiura@ 教授/永易 裕樹 nagayasu@ 教授/石井 久淑 hisayosh@

教授/高橋 伸彦 ntkhs@ 教授/吉田 充広 mh-yoshida@ 講師/加藤 幸紀 satsuki@

講師/田村 誠 mtamura@ 助教/煙山 修平 shuhei-0912@ 助教/合羅 佳奈子 k-gora@

【概要】

高齡者歯科学は、歯科医学のなかで最も新しい学問の一つとして位置づけられており、臨床だけに留まらず、加齡学、社会学、疫学などの幅広い学問体系をもつ。本科目では各専門分野の教員が分担して講義を行い、これまでに履修した基礎系科目ならびに臨床系科目の学修内容をふまえて超高齡社会において歯科医師に必要とされる知識を学習する。

【学修目標】

- 高齡者歯科医学の基本的な学問体系を説明する。
- 高齡者の社会保障と医療・保健・福祉を説明する。
- 生体の加齡と老化について説明する。
- 高齡者に多い全身疾患について説明する。
- 高齡者に多い口腔疾患について説明する。
- 高齡患者の臨床評価と診療方針の決定について説明する。
- 在宅・施設での診療環境の基本と歯科訪問診療について説明する。
- 高齡者の栄養評価と栄養管理について説明する。
- 高齡者における口腔機能について説明する。
- 高齡者における歯の欠損への対応について説明する。
- 高齡者における構音機能のリハビリテーションについて説明する。
- 摂食嚥下障害の基本的事項について説明する。
- 摂食嚥下障害の原因と病態について説明する。
- 摂食嚥下障害の評価と診断について説明する。
- 摂食嚥下障害への対応について説明する。
- 有病高齡者に対する歯科治療時の管理について説明する。
- 周術期の歯科処置について説明する。
- 緩和ケアについて説明する。
- 高齡者に多い歯、歯周組織の疾患について説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	高齡者歯科医学概論	・高齡者歯科医学の基本的事項を理解する。 A5-1)- 、A5-1)- 、A5-1)-	飯田 貴俊
2	高齡者の社会保障と医療・保健・福祉	・介護保険制度を理解する。 B2-2)- 、B2-2)- 、B2-2)-	三浦 宏子
3	生体の加齡と老化	・生体の加齡と老化（生物学的加齡変化、全身の加齡変化、知的機能の加齡変化及び口腔に関連した加齡変化）の基本を理解する。 D-5-7-1	石井 久淑
4	高齡者に多い全身疾患	・高齡者に多い全身疾患について理解する。 1) 脳血管疾患（脳血管障害）、2) 認知症 D-5-7-2	高橋 伸彦
5	高齡者に多い全身疾患	・高齡者に多い全身疾患について理解する。 3) 神経・筋疾患、4) 関節疾患、5) 転倒・骨折、6) 廃用症候群、7) 肺炎、誤嚥性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、8) その他の疾患（高血圧、糖尿病、白内障、うつ病） ・高齡者の特性を踏まえた薬物療法について理解する（ポリファーマシーや服薬アドヒランスを含めて）。 D-5-7-2	高橋 伸彦
6	高齡者歯科の臨床	・高齡者に多い軟組織の疾患を理解する。 ・高齡者に多い硬組織の疾患を理解する。 ・高齡者に多い神経疾患を理解する。 ・高齡者に多い唾液腺等の疾患を理解する。	永易 裕樹

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		E5-1)-	
7	高齢患者の臨床評価と診療方針の決定 訪問診療	・高齢患者の臨床評価と診療方針の決定を理解する。 ・訪問診療について理解する。 E5-1)- 、E5-1)-	煙山 修平
8	高齢者の栄養評価と栄養管理	・高齢者の栄養評価と栄養管理を理解する。 E5-1)-	煙山 修平
9	高齢者と口腔機能	・高齢者における口腔機能を理解する。 E2-4)-(11)- 、E2-4)-(11)- 、E5-1)-	飯田 貴俊 合羅 佳奈子
10	高齢者歯科の臨床 構音機能のリハビリテーション	・歯の欠損への対応を理解する。 ・構音機能のリハビリテーションを理解する。 E2-3)- 、E2-4)-(11)- 、E3-4)-(2)-	田村 誠
11	摂食嚥下リハビリテーション	・摂食嚥下障害の基本的事項について理解する。 ・摂食嚥下障害の原因と病態について理解する。 ・摂食嚥下障害の評価と診断について理解する。 E2-4)-(11)- 、E5-1)-	飯田 貴俊
12	摂食嚥下リハビリテーション	・摂食嚥下障害への対応について理解する。 E2-4)-(11)- 、E5-1)-	飯田 貴俊
13	有病高齢者に対する歯科治療時の管理 周術期の歯科処置緩和ケア	・有病高齢者に対する歯科治療時の管理について理解する。 ・周術期の歯科処置について理解する。 ・緩和ケアについて理解する。 A5-1)- 、E5-1)- 、E6-	永易 裕樹
14	高齢者歯科の臨床	・高齢者の歯・歯髄・歯周組織の特徴を理解する。 ・高齢者の歯髄・根尖性歯周組織疾患の特徴と治療法について理解する。 ・高齢者の歯周疾患の特徴と治療法について理解する。 ・高齢者への口腔ケアについて理解する。 E5-1)- 、E5-1)- 、E5-1)-	加藤 幸紀
15	高齢者の麻酔管理	配慮が必要な高齢者有病者障害者に関連した麻酔管理について理解する。 E5-1)- 、E6-	吉田 充広

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

高齢者・障害者歯科学（後期）の評価方法
定期試験（100%）で評価し、60点以上を合格とする。

高齢者・障害者歯科学（前後期）の評価方法
前期評価と後期評価を同等に評価し、60点以上を合格とする。

【教科書】

よくわかる高齢者歯科学 第2版 永末書店 佐藤裕二、植田耕一郎、菊谷 武 編 2023年 ¥8,500 + 税

【参考書】

新版歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 医歯薬出版 向井美恵、山田好秋、井上 誠、弘中祥司 編著 2019年 ¥8,000 + 税

摂食嚥下リハビリテーション 第3版 医歯薬出版 才藤栄一、植田耕一郎 監修 2016年 ¥7,600 + 税

老年歯科医学 第2版 医歯薬出版 森戸 光彦、山根 源之、桜井 薫、羽村 章、下山 和弘、柿木 保明 編 2022年 ¥11,000 + 税

老化と摂食嚥下障害 医歯薬出版 藤本篤士、葛谷雅文、糸田昌隆、若林秀隆 編著 2017年 ¥4,500 + 税

サルコペニアの摂食・嚥下障害 医歯薬出版 若林秀隆、藤本篤士 編著 2012年 ¥4,400 + 税

病院・施設・在宅で役立つ! 基礎からわかる口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーションQ&A57 メディカ出版 廣瀬知二 著 2021年 ¥2,860(税込)

【備考】

Google Form を活用し、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する。

【学修の準備】

予習は、次回の授業範囲のよくわかる高齢者歯科学の当該部分を読んで、疑問点を整理しておく(50分)。

復習は、教科書、プリントなどを活用し、理解を深める(50分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。

(専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力)

DP 4. 多職種(保健、医療、福祉、介護)と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。

(多職種連携能力)

【実務経験】

高橋 伸彦(医師)、三浦 宏子(歯科医師)、永易 裕樹(歯科医師)、吉田 充広(歯科医師)、石井 久淑(歯科医師)、田村 誠(歯科医師)、加藤 幸紀(歯科医師)、煙山 修平(歯科医師)、飯田 貴俊(歯科医師)、合羅 佳奈子(歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

高齢者に多い全身疾患についての講義は十分な実務経験のある医師が担当している。また、他の学習内容についても、高齢者・有病者の歯科治療、歯科訪問診療に関して十分な実務経験のある歯科医師が担当している。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している